〔 UNIX 用印刷サービスの LPR ポートの導入ガイド (Windows 2000/XP 用)〕

第1章 UNIX 用印刷サービスの LPR ポートの導入

- 1-1. Windows 2000/XP 上で、「スタート」から「コントロールパネル」を開き、「プログラムの追加と削除」を開きます。
- 1-2. 「Windows コンポーネントの追加と削除」をクリックし、「Windows コンポーネントウィザード」を開きます。

🐻 プログラムの i	自加と削除	
5	現在インストールされているプログラム: 🔲 更新プログラムの表示(D) 並べ替え(S): 名前	*
ブログラムの 変更と削除(<u>H</u>)	n Adaba Elaah Playar 11 AatiyaY 😛 🖓 👾	8.61 MB
		低
		削除
ブロクラムの 追加(<u>N</u>)	Î.	3.58MB
		7.00MB
9).34MB
Windows コンポーネントの	£	3.45MB
追加と削除(<u>A</u>)	Î).03MB
		3.82MB
プログラムの	í	9.11 MB
アクセスと 既定の設定(0)		1.89MB
	<u></u>	3.29MB 💌

1-3. 「Windows コンポーネントウィザード」が表示されたら、リストの中から「そのほかのネットワークファイルと印刷サ ービス」にチェックを入れて、「詳細」をクリックします。

Windows コンポーネント ウィザード	\mathbf{X}
Windows コンボーネント Windows XP のコンボーネントを追加または削除できます。	E
各チェック ボックスをクリックして、追加または削除するコンボ ボックスは、コンボーネントの一部がインストールされることを を表示するには、[詳細] をクリックしてくだざい。 コンボーネント(©):	ペーネントを選んでください。影付きのチェック 読します。コンボーネントに含まれているもの
🗆 🦻 インデックス サービス	0.0 MB 🔼
■ こ そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス	0.0 MB
☑ ≣コスットワーク サービス	0.3 MB 👝
	0.0 MB 🤜
説明: ネットワーク上でほかの人とファイルとプリン	々を共有します。
必要なディスク領域の合計: 56.6 MB 空きディスク領域: 4472.3 MB	[[]][[]][[]][[]][[]][[]][[]][[]][[]][[
	〈戻る(B) 次へ(N) キャンセル

1-4. 「UNIX 用印刷サービス」にチェックを入れて「OK」をクリックします。

そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス	×
各チェック ボックスをクリックして、追加または削除するコンポーネントを選んでください。影付きのチェック ボックスは、コンポーネントの一部がインストールされることを表します。コンポーネントに含まれているもの を表示するには、『詳細』 をクリックしてください。 そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス のサブコンポーネント(©):	
UNIX 用印刷サービス 0.0 MB	<u>~</u>
説明: UNIX クライアントは、このコンピュータで利用できるすべてのプリンタに印刷できます。	
 必要なディスク領域の合計: 56.6 MB 空きディスク領域: 4469.8 MB 	
OK キャンセル	

1-5. Windows コンポーネントウィザードの画面に戻るので、「次へ」をクリックします。

Windows コンポーネント ウィザード	
Windows コンボーネント Windows XP のコンボーネントを追加または削除できます。	E
各チェック ボックスをクリックして、追加または削除するコンポーネントを選ん ボックスは、コンポーネントの一部がインストールされることを表します。コン を表示する(こは、[詳細] をクリックしてください。 コンポーネント(⊆):	しでください。影付きのチェック ポーネントに含まれているもの
🗆 💬 インデックス サービス	0.0 MB 🔼
✓ 書」そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス	0.0 MB
🗹 🚉 ネットワーク サービス	0.3 MB 💼
□ ☞ メッセージ キュー	0.0 MB 🧹
説明: ネットワーク上でほかの人とファイルとプリンタを共有します	t.
必要なディスク領域の合計: 56.6 MB 空きディスク領域: 4468.8 MB	詳細(D)
(戻る(8)	☆へ(N) > キャンセル

1-6. 正常に終了すると「Windows コンポーネントウィザードの完了」が表示されます。「完了」をクリックします。



1-7. 「スタート」から「プリンタと FAX」を開き、LPR ポートに変更するプリンターのドライバーで右クリックし、「プロパティ」を開きます。



1-8. 「ポート」タブを開き、「ポートの追加」をクリックすると、下記の画面のように「利用可能なポートの種類」に [LPR Port]が追加されていますので選択し、「新しいポート」をクリックします。

🍓 InfoPrint 5577-D05 のプロパティ 🛛 🥐 🔀
全般 共有 ポート 詳細設定 セキュリティ デバイスの設定
InfoPrint 5577-D05
デリンタ ポート ? 🔀
ED刷す ドキュン 利用可能なポートの種類(A):
2 Lexmark Enhanced TCP/IP Port
ポー LPR Port □ IF LPR Remote Print Port □ IF Microsoft Document Imaging Writer Monitor □ IF Standard TCP/IP Port
 ✓ IF ③ □ IF 新しいボートの種類(N) 新しいボート(P) キャンセル
ポートの追加(T) ポートの削除(D) ポートの構成(C)
 双方向サポートを有効にする(E) プリンタ プールを有効にする(N)
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

1-9. 「LPR 互換プリンタの追加」画面が表示されますので、プリンターの IP アドレスとキュー名を記入し、「OK」をクリ ックします。キュー名はプリンターの内蔵 LAN カードによって決まります。5400 シリーズと 5577 シリーズの場合 は lp1、5400 エミュレーターII の場合 pr1(5577 モード)になります。

<u>キュー名について ></u>

LPR 互換プリンタの追加 🛛 🔀				
LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス(<u>N</u>):	×××××××××	ОК		
サーバーのプリンタ名またはED刷キュー(R):	lp1	キャンセル		
_	,	ヘルプ(円)		
) // ()//////acco-happin 1	1991	ヘルプ(上		

※プリンタポートの画面が残っているので「閉じる」をクリックしてください。

1-10. プロパティ画面に戻るので、「適用」ボタンをクリックし、「OK」で閉じてください。以上で操作は完了です。

👆 InfoPrint 5577-D05 のプロパティ	? 🔀
全般 共有 ポート 詳細設定 セキュリティ デバイスの設定	
InfoPrint 5577-D05	
印刷するボート(P) ドキュメントは、チェック ボックスがオンになっているボートのうち、最初に利用可能/ 印刷されます。	ಇಕೂರ್
ポート 説明 プリンタ	<u>^</u>
Standard TCP/IP Port	
Standard TCP/IP Port	
Microsoft Docume Local Port	
Market Ma	
	~
	>
ポートの追加(T) ポートの削除(D) ポートの構成	<u>©</u>
 双方向サポートを有効にする(E) プリンタ プールを有効にする(N) 	
	適用(<u>A</u>)

[Memo]

UNIX 用印刷サービスの LPR ポートの場合、タイムアウト値のデフォルトは「300 秒(5分)」となっています ので、そのままでも繰り返し印刷の発生は回避できると思われます。しかし、お客様のネットワーク環境や、印刷デ ータのサイズによって 300 秒よりも更に大きな値に変更する必要が出てきた場合には、レジストリを編集して LPR ポートのタイムアウト値を変更します。その場合には、次の「第2章」にお進みください。

[Memo]

UNIX 用印刷サービスの LPR ポートの場合、11 個を越える複数ジョブ(12 個目のジョブ)の印刷が遅れるという現象が発生する場合があります。これは、Windows NT/2000/XP において、LPR で利用できるポート数に制限があるためです。レジストリ編集で、ポート数の制限をなくし無制限に設定することで回避が可能です。その場合には、第3章へお進みください。

UNIX 用印刷サービスの LPR ポートの場合、タイムアウト値のデフォルトは「300 秒(5分)」となっていますので、そのま までも繰り返し印刷の発生は回避できると思われます。しかし、お客様のネットワーク環境や、印刷データのサイズによ って 300 秒よりも更に大きな値に変更する必要が出てきた場合には、レジストリを編集して LPR ポートのタイムアウト 値を変更することが可能です。下記に手順をご案内いたします。

※レジストリの編集は Windows への大きな影響を与えることになる可能性がありますので、十分慎重に行なってください。万が一問題が発生したとしても当社は一切の責任を負いません。

2-1. 「アクセサリ」の中から「コマンド プロンプト」を選択し、下記画面のように「net stop spooler」とインプットして 「Print Spooler サービス」を停止させます。



2-2. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」欄に「regedit」とインプットして「OK」をクリックします。

ファイル名	を指定して実行 ? 🔀
-	実行するプログラム名、または開くフォルダやドキュメント名、インターネ ット リソース名を入力してください。
名前(0):	regedit 👻
	OK キャンセル 参照(B)

2-3. 下記画面のようなレジストリ エディタが起動したら、

「¥¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Print¥Monitors¥LPR Port¥Ports」の下にで きた LPR ポートの IP アドレス下の「Timeouts」をクリックします。 ※「ControlSet001」や「ControlSet002」と間違えないようにご注意ください。

※画面下のパスの表示を確認しながら慎重に操作を行ってください。

🐒 レジストリ エディタ				
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)				
Forms Monitors BJ Language Monitor CPCA Language Monitor2 IBM Language Monitor2 IBM Language Monitor2 IBM LPR Remote Printing Client InfoPrint Language Monitor2 Lexmark Enhanced TCP/IP Port Local Port Ports IPR Port IPR Port IPR Remote Print Port IPR Remote Print Port IDE LPR Remote Print Port RICOH Language Monitor2 RICOH Language Monitor2 Standard TCP/IP Port		名前 •••) (既定) •••) CommandTimeout •••) DataTimeout	種類 REG_SZ REG_DWORD REG_DWORD	データ (値の設定なし) 0x00000078 (120) 0x0000012c (300)
USB Monitor	~			
<		<		
マイコンピュータ¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Print¥Monitors¥LPR Port¥Ports¥® 1000000000000000000000000000000000000				

2-4. DataTimeout の「データ」が(300)となっているのは、300 秒という意味です。DataTimeout をダブルクリックして 表示される下記の「DWORD 値の編集」画面において、「表記」の「10 進数」をチェックします。そして「値のデー タ」欄に設定したいタイムアウト値を「秒単位」で記入して「OK」します。(下記画面は 30 分に変更した例です。) なお、値を大きくすることが悪影響を与えることはありません。

💣 レジストリ エディタ		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)		
Forms Monitors BJ Language Monitor CPCA Language Monitor2 IBM Language Monitor2 IBM LPR Remote Printing Client InfoPrint Language Monitor2 Lexmark Enhanced TCP/IP Port Local Port Ports Ports Ports LPR Port LPR Remote Print Port Microsoft Document Imaging Writer Monitor PJL Language Monitor2 Standard TCP/IP Port USB Monitor	名前 種類 ■ (研定) REG_SZ © CommandTimeout REG_DWORD DataTimeout REG_DWORD DWORD 値の編集 値の名前(\): DataTimeout 値のデータ(\): 1800 16 進(\) ○ 10 進(\) ○ 0K	データ (値の設定なし) 0、00000078 (120) 0、0000012c (300)
PendingUpgrades		>
マイコンピュータ¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet	,	neouts

《参考》レジストリ編集でのタイムアウト値はどれくらいに設定するか?

タイムアウト値に制限はございませんので大きい数値(例えば 6000 秒など)に設定いただいても問題はありません。 また、5577-xxx インパクト・プリンターなどでは、印字速度は必ずしも一定ではなく、印字ヘッドの温度上昇時に保護機 能が働き、印字ヘッドが一定温度に達すると温度が下がるまで処理スピードを遅くする機能があります。印字ヘッドを 一定時間停止しても一定温度以下にならない場合待ち時間をさらに長くします。一定温度以下になると通常の印刷に 戻ります。大量印刷する場合や長時間または印字密度の高い印刷を連続して行なうと、印字ヘッドが高温になり故障 の原因となるため、このような機能が働きます。

お客様環境に合わせて、余裕を持った値で設定してください。

2-5. レジストリ エディタを終了させて、「2-1」と同様の手順でコマンドプロンプトに「net start spooler」とインプットしま す。「Print Spooler サービス」の開始が確認できたら終了です。



[Memo]

UNIX 用印刷サービスの LPR ポートの場合、11 個を越える複数ジョブ(12 個目のジョブ)の印刷が遅れるという現象が発生する場合があります。これは、Windows NT/2000/XP において、LPR で利用できるポート数に制限があるためです。レジストリ編集で、ポート数の制限をなくし無制限に設定することで回避が可能です。その場合には、第3章へお進みください。

第3章 レジストリ編集でポート数の制限をなくすための設定

UNIX 用印刷サービスの LPR ポートの場合、11 個を越える複数ジョブ(12 個目のジョブ)の印刷が遅れるという現象が発生する場合があります。これは、Windows NT/2000/XP において、LPR で利用できるポート数に制限があるためです。 レジストリ編集でポート数の制限をなくし無制限に設定することで回避が可能です。下記に手順をご案内いたします。

※レジストリの編集は Windows への大きな影響を与えることになる可能性がありますので、十分慎重に行なってください。万が一問題が発生したとしても当社は一切の責任を負いません。

3-1. 「アクセサリ」の中から「コマンド プロンプト」を選択し、下記画面のように「net stop spooler」とインプットして 「Print Spooler サービス」を停止させます。

🔤 コマンド プロンプト	- 🗆 🗙
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600] (C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.	
C:¥Documents and Settings¥Administrator>net stop spooler Print Spooler サービスを停止中です. Print Spooler サービスは正常に停止されました。	
C:¥Documents and Settings¥Administrator>	
I	• • //

3-2.「スタート」→「ファイル名を指定して実行」欄に「regedit」とインプットして「OK」をクリックします。

ファイル名	を指定して実行 🛛 💽 🔀
==	実行するプログラム名、または開くフォルダやドキュメント名、インターネ ットリソース名を入力してくだざい。
名前(<u>O</u>):	regedit
	OK キャンセル 参照(B)

3-3. 下記画面のようなレジストリ エディタが起動したら、

「¥¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥LPDSVC¥lpr」を選択します。

※画面下のパスの表示を確認しながら慎重に操作を行ってください。

🔊 レジストリ エディタ				
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)				
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H) ■ ■ IE4 ■ ■ IMAPI ■ ■ IME JP ■ ■ IMEKR ■ ■ IMEKR ■ ■ Internet Account Manager ■ Internet Connection Wizard ■ ■ Internet Explorer ■ ■ Internet Explorer ■ ■ Java VM ■ ■ Jet □ LPDSVC ■ ■ MediaPlayer ■ ■ MessengerService		名前 ④ (既定) 聞 JobNumber	種類 REG_SZ REG_DWORD	<u>データ</u> (値の設定なし) 0×00000062 (98)
	~			
		×		>
マイコンピュータ¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥LPDSVC¥lpr				

3-4. 「lpr」キーの中に、第1章で LPR ポートとして設定した IP アドレスの値が存在する場合は、そのエントリをダブ ルクリックします(手順 3-6 へお進みください)。IP アドレスの値が存在しない場合は、メニューから[編集] → [新規] → [DWORD 値] をクリックします(手順 3-5 へお進みください)。

が レラスト	リ エディタ				
ファイル(E)	編集(E) 表示(M) お気に入	り(A) ヘルプ(H)			
	新規(N)	≠-(<u>K</u>)	j	種類	データ
	アクセス許可(P)	文字列值(S)	既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
	削除(<u>D</u>) Del 名前の変更(<u>R</u>)	バイナリ値(<u>B</u>) DWORD 値(<u>D</u>) 複数行文字列値(<u>M</u>)	lobNumber	REG_DWORD	0x00000062 (98)
	キー名のコピー(<u>C</u>)	展開可能な文字列値(E)			
	検索(<u>F</u>) Ctrl+F 次を検索公 F3				
	Java VM Jet Jet LPDSVC MediaPlayer MediaPlayer Microsoft Interactive Training Microsoft Office XP Professional Z777°/ MIT Microsoft Office XP Professional Z77 MM20				
<					
新しい DWORD 値を追加します。					

3-5. 「新しい値 #1」の上で右クリックをして「名前の変更」を選択します。第1章で LPR ポートとして設定した IP アドレスを入力します。

遊 レジストリ エディタ				
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)				
ファイル(E) 編集(E) 表示(公) お気に入り(A) ヘルプ(H) ■ □ IE4 ■ □ IMAPI ■ □ IMEJP ■ □ IMEKR ■ □ IMEMIP ■ □ Internet Account Manager □ □ Internet Connection Wizard ■ □ Internet Domains ■ □ Internet Explorer □ □ Internet Explorer □ □ IPSec ■ □ Java VM ■ □ Jet □ LPDSVC □ □ Ipr ■ □ MediaPlayer ■ □ MediaPlayer ■ □ Microsoft Interactive Training ■ □ Microsoft Interactive Training	名前 ④ (既定) 器 JobNumber 新しい値 都 修正(M) バイナリ データの修正(B) 削除(D) 名前の変更(B)	種類 データ REG_SZ (値の設定なし) REG_DWORD 0×00000062 (98) REG_DWORD 0×00000000 (0)		
⊕ 🧰 MIT Microsoft Office XP Professional ステ ⊕ 🧰 MM20 🗸 🗸				
	<		>	
マイ コンピュータ¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥LPDSVC¥lpr				

- 3-6. IP アドレスの値のエントリをダブルクリックして開きます。「DWORD 値の編集」画面が開きますので、以下の情報を入力し、「OK」をクリックします。
 - ・ 値の名前 : ※IP アドレスが表示されています
 - 値のデータ: 1
 - 表記 : 16 進 (バイナリ)

DWORD 値の編集	? 🛛
値の名前(N): 810001115	
(値のデータ(<u>∨</u>): 1	表記 ● 16 進(<u>H</u>) ● 10 進(<u>D</u>)
	OK キャンセル

※ 値のデータは、デフォルトでは「0」になっていますが、ポート数の制限をなくすために「1」に設定します。 マイクロソフト様では、ポート 721 ~ 731 (11 個のポート)を使用する場合は「0」、ポート 1024 以降の任意のポート を使用する場合は「1」を設定するとしています。

《参考》 LPR で利用できるポート数に制限があるため、Windows のレジストリを変更することにより修正可能であることについては、下記マイクロソフト様のホームページでご紹介されています。

<u>サポート技術情報 文書番号:179156 Windows NT 4.0 SP3 以降で更新された TCP/IP 印刷オプション</u>

3-7. レジストリ エディタを終了させて、「3-1」と同様の手順でコマンドプロンプトに「net start spooler」とインプットしま す。「Print Spooler サービス」の開始が確認できたら終了です。

